

令和8(2026)年度北海道大学国際総合入試 基本方針

国際総合入試の趣旨・目的

「北海道大学近未来戦略 150*」並びに「HU VISION 2030**」に掲げるグローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野を越えたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜することを目的とします。

※ 「北海道大学近未来戦略 150」 <https://www.hokudai.ac.jp/introduction/plan/150150/>

※※ 「HU VISION 2030」 <https://www.hokudai.ac.jp/introduction/plan/huvision2030/>

国際総合入試で求める学生像

大学における学修に必要な基礎学力を有するとともに、自らの探究心に基づいて設定した課題を解決することを志向し、常に創造的に行動することのできる学生を求めています。例えば、国境を越えた地球環境問題や食糧資源問題等について探究し、異文化を理解・尊重しながら巧みなコミュニケーション能力を発揮してボーダーレスに活躍する意欲を持つ学生を求めています。

募集人員

総合入試文系 5名

総合入試理系 10名

注) 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜前期日程試験(総合入試)の募集人員に加えます。

出願資格

次の各号のいずれかに該当すること。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8(2026)年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8(2026)年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の項目のいずれかに該当する者及び令和8(2026)年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び令和8(2026)年3月31日までに18歳に達するもの

要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- ① 令和8(2026)年4月1日現在において、出願資格取得後2年以内であること。
(令和6(2024)年4月1日から令和8(2026)年3月31日までの間に試験資格を取得していること。)
- ② 以下のa・bのうち、いずれかに該当する者
 - a. 国際バカロレア(IB)資格証書(DPフルディプロマ)の写し及び最終試験の成績評価証明書を提出できる者(令和8(2026)年1月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書を提出すること。出願時にIB資格を取得見込みでない者は出願できない。)
 - b. 米国College Boardが実施するSAT Reasoning Test及びAP Testの成績評価証明書を提出できる者(ただし、SAT Reasoning Testは、米国ACT Inc.が実施するACT(American College Testing)の成績評価証明書に替えることができる。)

③ IBの履修科目、SAT、AP Test 及びACTの受験科目について

a. IBの履修科目について、以下のとおり指定します。

区分	対象	履修指定科目
総合入試 文系	日本語を母語とする者	English A(SL/HL) 又は English B(SL/HL) ※①
	日本語を母語としない者	Japanese A(SL/HL) 又は Japanese B(HL) ※②
	全 員	Group 3 【Individuals and societies】の中から1科目 (SL/HL) 又は Group 5 【Mathematics】の中から1科目 (SL/HL) ただし「applications and interpretation SL」を除く。
総合入試 理系	日本語を母語とする者	English A(SL/HL) 又は English B(SL/HL) ※①
	日本語を母語としない者	Japanese A(SL/HL) 又は Japanese B(HL) ※②
	全 員	Group 4 【Sciences】の中から2科目 (SL/HL) (うち1科目は Physics、 Chemistry、Biology のいずれかであること) 及び Group 5 【Mathematics】の「analysis and approaches HL」

※① 当該科目を履修していない場合、以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができます。

- (1) TOEFL-iBT (2) TOEFL-iBT Home Edition (3) IELTS (4) TOEIC L&R
(5) 実用英語技能検定試験 (日本・英検) (6) 国連英検 (7) ケンブリッジ英検

※② 当該科目を履修していない場合、以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができます。

- (1) 日本語能力試験 N1
(2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点 (記述式を含む) が 270 点以上の成績通知書 (写)

b. SAT Reasoning Test (又はACT) 及びAP Testの受験科目について、以下のとおり指定します。 ※③

区分	受験指定科目
総合入試 文系	<ul style="list-style-type: none"> ・ SAT Reasoning Test 2科目 (Math, Reading-Writing and Language) 又は ACT 4科目 (English, Mathematics, Reading, Science) ・ AP Test 3科目以上 (AP Japanese Language and Culture を除く。) うち2科目は、下記 I の科目群から1科目、IIの科目群から1科目とする。 <p style="margin-left: 20px;">I : 1. AP English Language and Composition 2. AP English Literature and Composition 3. AP Comparative Government and Politics 4. AP European History 5. AP Human Geography 6. AP Macroeconomics 7. AP Microeconomics 8. AP Psychology 9. AP United States Government and Politics 10. AP United States History 11. AP World History: Modern</p> <p style="margin-left: 20px;">II : 1. AP Calculus AB 2. AP Calculus BC 3. AP Statistics 4. AP Computer Science Principles 5. AP Computer Science A</p>

総合入試 理系	<ul style="list-style-type: none"> •SAT Reasoning Test 2科目 (Math, Reading-Writing and Language) 又は ACT 4科目 (English, Mathematics, Reading, Science) •AP Test 3科目以上 (AP Japanese Language and Culture を除く。) うち2科目は下記科目群 I ~IVから (同一群からは1科目のみ)、1科目はVの数学からとする。 <ul style="list-style-type: none"> I : 1. AP Physics 1: Algebra-Based 2. AP Physics 2: Algebra-Based 3. AP Physics C: Electricity and Magnetism 4. AP Physics C: Mechanics II : 1. AP Chemistry III : 1. AP Biology IV : 1. AP Environmental Science 2. AP Computer Science A 3. AP Computer Science Principles V : 1. AP Calculus BC
------------	--

- ※③ 日本語を母語としない者は、以下に掲げるいずれかの成績証明書等を提出してください。
- (1) 日本語能力試験 N1
 - (2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点 (記述式を含む) が 270 点以上の成績通知書 (写)

選抜日程

事 項	日 時 ・ 期 間
出願期間	令和7(2025)年9月16日(火)10時から 令和7(2025)年9月25日(木)17時まで (期間内必着) ※ インターネット出願登録は令和7(2025)年9月10日(水)10時から事前登録が可能ですが、出願受付は上記期間に限ります。
第1次選考結果通知	令和7(2025)年10月28日(火)16時 (予定)
第2次選考日	令和7(2025)年11月16日(日)
合格発表日 (注)	令和7(2025)年12月9日(火)16時 (予定)
「条件付合格」の最終合格発表	令和8(2026)年2月10日(火)16時 (予定)
入学手続期間 (注)	令和7(2025)年12月9日(火)から 令和7(2025)年12月15日(月)17時まで (期間内必着)
「条件付合格」の入学手続期間	令和8(2026)年2月10日(火)から 令和8(2026)年2月16日(月)17時まで (期間内必着)

注) 「国際バカロレア資格の取得見込み者」は「条件付合格」となります。

選抜方法

(1) 第1次選考

成績評価証明書、調査書、志望理由書・自己推薦書等に基づき選考を行います。
第1次選考の合格者に対して第2次選考を行います。

(2) 第2次選考

- ① 第1次選考に合格した者に対して、面接、成績評価証明書等に基づき総合的に判定します。
- ② 面接は出願書類（IB 課題論文 EE 若しくは本学が課すテーマによる課題論文*を含む。）の内容に基づき実施します。
- ③ 面接実施の際、必要に応じ、口頭試問等による学力の確認、日本語能力又は英語能力の確認を行う場合があります。
- ④ 日本国外に滞在する者については、オンラインで面接を実施します。

※ 出願要件②b（2ページ参照）により出願する者は、学習している科目の中から自ら興味をもった課題について調査・研究を行い、論文としてまとめて提出してください。